

施政方針

— 内需拡大の要請にこたえ 社会資本の積極的整備に努めます —

昭和六十三年度の方針を決める三月議会は、三月十一日に招集され、新年度予算をはじめ、行政運営に必要な条例案等を審議して二十二日に閉会しました。

第一日目に町長から新年度における施政方針として予算編成、主要案件について説明がありました。今回の議会で三十一議案が審議され可決されました。

今月号では、町長の施政方針のすべてと、昭和六十三年度の予算概要、特別職の報酬の改正内容（P.九）についてお知らせします。

予算編成について

昭和六十三年年度予算を提案するにあたりまして町政執行の基本方針と町財政の現状及び重点施策を申しあげ、議会並びに町民各位の深いご理解とご協力をお願い申し上げます。

私は、町政を執行するにあたりまして、町民各位からお寄せいただきました。信頼と期待にこたえるため、新たな決意と情熱と勇気をもって、明るく健康で心豊かな住み良い活力ある町づくりを専念努力いたす所存でございますので、議会をはじめ町民各位の一層のご支援をお願い申し上げます。

依然として厳しい状況にありまふものであります。

一方歳出では、小須戸小学校プール建設費、円高緊急融資預託金、団体営かんがい排水事業都市計画街路中央線等の事業等が完了いたしました。大規模開発、人工透析者の通院費助成林道整備費、米の消費拡大推進に伴う設備費等を新規に計上するとともに、山の手運動広場の六十三年度完成のための工事費新築住宅建設資金貸付事業の預託金、下水道事業繰出金等を継続計上いたしております。

昭和六十三年度末の町債残高見込は、二十五億九千万円にもなるなど極めて厳しい財政環境に置かれています。

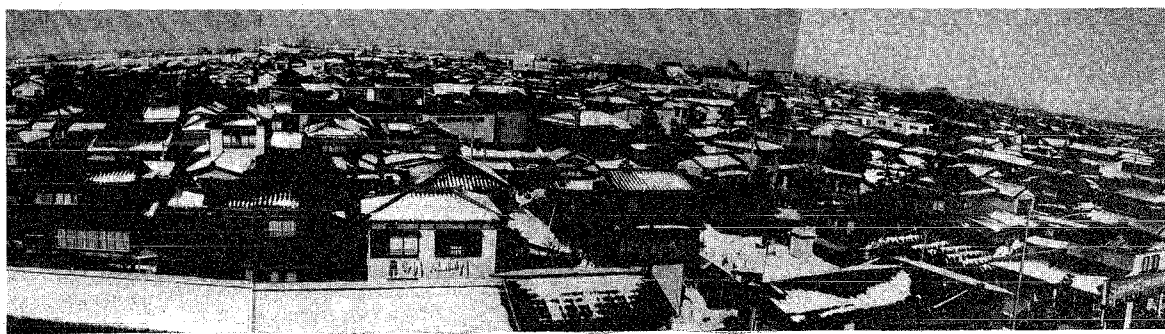
昭和六十三年度の本町の財政の見通しについては、歳入面では、国庫補助負担率の引き下げが避けられず、また、景気は回復基調にあるものの、税制改革は減税先行となっており、町税及び地方交付税も大幅な伸びは期待できないところでありまして、

次に歳入歳出の財源内訳を大別いたしますと、歳入では、自主財源が四五・一％で十億四千万円となり、依存財源が五四・九％の十二億六千五百万円に依然として自主財源に乏しい財政力となっております。歳出では、人件費が二六・五％、六億一千万円となり、以下総額に占める割合は、投資的経費が二〇・六％、公債費一三・五％、その他一般行政費が三九・四％となっております。なかでも、年々公債費の占める割合が上昇しつつありますことは、財政硬直化の要因となりますので、財政調整基金や減債基金を増額し、財政の健全化に努める所存であります。

町民各位の一層のご支援をお願い申し上げます。

本町の財政は、昭和六十一年度からの国庫補助負担率の引き下げ措置等の影響により、大量の町債の発行を余儀なくされ、昭

年度の一般会計からの繰入金金を七千万円計上いたしております。また、供用開始と合わせて、家庭の排水設備の改善に要する資金の融資制度を継続させ、社会資本の充実、公衆衛生の普及向上と水質の保全に努め、健全な下水道事業の普及促進を図るところであります。



町長の

昭和六十三年度の主要案件

一、大規模開発事業

本町は、恵まれた自然の中、「花と緑の町」を基本としながら、調和のとれた町づくりを進めておりますが、近年の地域経済は交通網の整備、情報化の進歩により大きく進展しており、国もまた地方分散型の国づくりを推進しています。本町においては、労働力と商業購買力は近隣都市へと流出している現状にあり、住宅団地、企業団地の造成により人口増加、町の活性化、商工業の振興を図る目的で当初予算において調査委託料三百八十万円を計上し事業を推進するものであります。

二、水田農業確立対策、及び米消費拡大推進

国は、余剰米解消のため昭和六十二年度からポスト三期の水田農業確立対策に移行し、益々大幅な減反目標を配分いたしました。この目標達成には、生産農家、農業協同組合、町が一体となって推進しなければならぬと考えておりますが、この対策のいっぺんは、水田農業確立対策調整費二百万円、集団営農用機械整備事業費四百八十万二千円を計上いたしました。また、米需給



町は、従来から恵まれた自然と人づくりを基調に生活環境の整備に力を入れ、教育を重点に産業の振興を図り、「花と緑の町」宣言をして、住みよい町づく

均衡化緊急対策の一環として、政府の指導と協力により、生産者団体等による米の消費量が純増となるような消費拡大の取組みが行われているところであり、本町におきましても、学校給食の米飯給食の回数を増やし、これに協力するものとし、施設等の整備費七百八十万円を計上し米の消費拡大を推進するものであります。

三、スポーツ施設の充実

昭和六十二年より二ヶ年継続事業で取組みました山の手運動広場は、昭和六十四年完成目標で工事を行っているところであります。昭和六十三年年度予算には、一億九千万円を計上し、野球場、テニス場、ゲートボール場の整備を推進するものであります。なお、予算計上はありますが、山ノ手屋内施設等の基本設計に着手し、順次スポーツ施設の整備充実を図ることといたします。

四、商工振興対策

二、三数年、地方の町づくり、村おこしが盛んであり、各地でイベントが行われ、特産品が宣伝され、あらためて各地の歴史

町を推進しておりますが、今後も環境整備を進めるため、山林保護の松くい虫駆除委託料二千五百九十五万円、林道宮田線舗装工事費一千七百四十万円、災害防止事業の急傾斜地崩壊対策負担金四百八十万円、新築住宅建設資金貸付事業の継続の預託金九千五百八十万円、矢代田小学校、中学校プールの改良工事費七百五十万円、幼稚園の改修工事費一千万円、を各々計上し、自然、居住、教育の環境整備を進め、町づくりを図るものであります。

以上、新年度予算と施政方針の重点案件について申し述べましたが、従来から実施されております諸制度、諸施策につきましても、一層これを充実発展させ、住みよい町づくりを推進いたしますので、格段のご協力を賜りますようお願い申し上げます。所信の一端に替えてさせていただきます。

